

軍人精神について

伊佐 二久 陸士55

終戦記念日の特集を組むにあたり、
軍人精神について振り返ってみよう。

私は今年101歳になるが、多彩な人生を経験し、誇りに思っている。

中学明善校（今の明善高校）1年生の時、先輩で親友でもあった野副さんが着ている東京陸軍幼年学校の制服姿に憧れて受験したところ、幸い合格して喜んだものである。

それまでは東京の1校だけだったが、満洲事変以後の軍拡時代になって、中学明善校から9人も合格して驚いたことであった。

私が合格通知を受け大喜びしていたら、私を可愛がっていた祖母が「通らんけりゃいいのに」と悲しんでいたのを思い出している。

幼年学校では、毎朝起床ラッパで飛び起きて制服を身に着け、生徒舎から出て軍人勅諭を奉読し皇居を遙拝していた。

軍人勅諭五カ条の忠節、礼儀、武勇、信義、質素は、終戦後平和となつ

た今でも私の人生を導いている。

元軍人は亡くなられた方が多いと思うが、ご生存の方は今もご記憶に残っているとお察ししている。

以下に、勅諭の五カ条をご紹介させていただきます。

一 軍人は忠節を尽くすを本分とすべし

一 軍人は礼儀を正しくすべし

一 軍人は武勇を尚ぶべし

一 軍人は信義を重んずべし

一 軍人は質素を旨とすべし

外国では軍人に対して皇帝がこのような教育的な勅諭を出すことはな
いと思っている。

100歳を過ぎた今でも、この勅諭を奉読し、軍人精神を懐かしく思い出している。